

会 議 録

会議の名称	令和4年度第7回天草市総合政策審議会
開催日時	令和4月10月28日(金) 13:30~15:30、16:30~17:00
開催場所	天草市役所2階 庁議室
議長名	玉村 雅敏
出席者氏名	玉村会長、田中副会長、荒木委員、江良委員、小川委員、小田委員、木村委員、澤田委員、西村委員、森本委員、山下委員
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 (1) 第3次天草市総合計画の答申について (2) 第2次天草市行政経営改革大綱について 5 その他 6 閉 会
審 議 内 容	
<p>(1) 第3次天草市総合計画の答申について</p> <p>○事務局説明</p> <p>(会長) 皆さんからの意見を踏まえ、市長への第3次天草市総合計画の答申となる。事務局からの説明を受け、ご意見やご質問などお願いしたい。</p> <p>(委員) 歳入の確保で、ふるさと納税があるが、その中には企業版ふるさと納税もある。天草市の現状はどうか。</p> <p>(事務局) 企業版ふるさと納税においては、令和2年度が1千万円、令和3年度が210万円、令和4年度が現在のところ10万円寄附をいただいている。毎年度500万円の寄附を目標として取り組みを行っているところ。</p> <p>(会長) 天草市のポテンシャルを考えるとまだいけると思う。ぜひ今後のテーマとして考えてほしい。また、歳入の確保での成果指標は、前回目標額を20億円と示されていたが、今回30億円へ増額されている。ふるさと納税には、経済効果もあり、これまで以上に他課と連携し、魅力向上を目指すとして増額されたと説明を受けている。</p> <p>(委員) ふるさと納税は関係人口にもつながっていく。今後もぜひ企業版も含め、積極的に取り組んでいてもらいたい。</p> <p>(副会長) 今回の総合計画にSDGsの視点を取り入れていただいたことに感謝します。しかし、ただ作って終わりではなく、今後どうまわしていくのか。また、さらにターゲットを絞って取り組んでいき、確認していくことも大切だと思っている。あと、最後の「挑み続ける行政経営に取り組むまち」というところも重要で、市役所の職員の皆さんが元気だと持続可能につながっていくと思う。今後、点検評価にこの計画をどう使っていくのか。職員一人ひとりの年間の目標と総合計画がどう携わり、点検していくことを今後考えてほしい。あと、私たちが関わってきた崎津集落が今回グッドデザイン賞を受賞しました。この取り</p>	

組みは役所を越えて皆さんが集まり、横串で取り組んできた成果から。この考えは今回の総合計画には取り入れてもらえたと思っている。ぜひこの視点を踏まえ取り組んでいてもらいたい。

(事務局) 今回、総合計画を作成するにあたり、職員の部分についても取り組むこととしています。現在、職員は年間の目標を立て、中間・最終と個人及び上司の面談を踏まえながら評価を行っている。今まで以上に総合計画を意識づけ行いながら取り組んでいきたいと考えている。すべての職員が元気になれば地域も元気なると本当に思います。全体的な視点を意識しこれからも取り組んでいきたい。

(副会長) 職員の皆さんは、嫌と思いながら取り組みではなく、ぜひ楽しく取り組んでいてもらいたい。

(会長) 企業版ふるさと納税には、一つのテーマを示し取り組むために受ける方法もある。具体的にどのようなことをするためということを示し、寄附を受けることもできる。今後行政においては、自分たちで財源を確保し取り組んでいくという視点も重要となってくる。

それでは、今回の意見を踏まえ、市長へ答申を行いたいと思う。

(2) 第2次天草市行政経営改革大綱について

○事務局説明

(会長) 説明を聞かれた中で、この観点がないなどのご意見をいただきたい。今回の総合計画を踏まえた具体的な分野別計画としてこの大綱は位置付けられ、現状と課題を示しアクションプランとして今後とりまとめていくことになる。総合計画との整合を踏まえ、現状、課題として足りないものもないのかなどもご意見いただきたい。総合計画の指標は、象徴的なものを上げてあるが、大綱ではもっと現状や課題を踏まえた指標を検討してもらいたい。問題意識として、また、アクションプランとして管理していく必要もあるので。この大綱は、総合計画の展開を管理していくものでもありますので。

(事務局) 今後、アクションプランを検討してまいりますので、今後詳細な部分を提示します。

(委員) 大綱は、総合計画の綿密な実行部分と感じました。改革として痛みを伴うものでもあるので、経営の視点として前例に捉われないものとして考え取り組んでももらいたい。そうすることで自由な改革ができるのではないかと。

(事務局) 市長も「前例がない」、「お金がない」、「他でやっていない」ということで動かないことにならないように言われているところ。

(会長) この考えが挑み続ける行政経営につながると思うので、ぜひお願いしたい。

(委員) この大綱を見ることで、成果指標の重要性も感じることができる。あと、全体の達成率を指標とされているが、実際に市民からの意見という部分を指標に入れることも一つではないかと。

(事務局) 成果指標は総合計画の中に管理していくもの。簡単にできるものは掲げていない。改善を行いながら管理し、見直しを行いながら全体の指標が達成することを目指しているところ。大綱の指標とは同じになる部分があれば、別に設定す

るものも出てくる。

(委員) 指標の一つに成果指標の達成が100%となっているが、3年間で達成するという考えでいいのか。5年度には100%にはならないということなのか。

(事務局) 最終の結果として100%を目指すということになる。

(会長) トータルシステムにおいて、行政は全体としてきちんとPDCAを行い、審議会においても評価を確認しながら議論していき、成果指標の達成が100%を目指すということになる。

(委員) 大綱では、結果として効果が見えるような指標があった方がいいと思った。

(事務局) アクションプランの実行計画としての効果が見える指標を今後設定していくこととしている。

(会長) 成果指標と活動指標をうまく使うことを整理してもらいたい。

(委員) 例えば、アウトソーシングの部分で考えると、メールの容量の問題など利便性と危険性の双方が考えられる。便利な部分がやはり大きいと思う。いろいろな要望なども聞きながら対応をされることもアクションプランとしてもらいたい。

(会長) 詳細な視点は、アクションプランの内容になると思うので、ぜひそのような視点を踏まえ取り組みを検討してもらいたい。

(委員) 年次別財政計画の部分で歳入が減っているので歳出を減らすということになっていると思うが、歳出の人件費部分においては、働きがいの考え方なども踏まえ、どのように考えられているのか。優れた人材を確保していく中でどのようなバランスとして考えられているのか。働きがいの中には給与面も重要だと考えているが職員数があまり減らない中で、人件費が減っているのでお尋ねしたい。

(事務局) 現在は、基本給をカットするという計画はない。人件費のばらつきは、これからの定年退職の年齢変更に伴い、その分が財政計画の人件費に反映しているため、アンバランスになっている。

(委員) 一人ひとりの付加価値を上げるためのDX推進もあると思う。また、PFIの活用などもアクションプランなどに反映されていくのか。天草市は施設数も多く保有されており、全国にも具体例もあると思うので。

(事務局) 民間事業者との連携については、指定管理者制度の運用を行っている。今後新たに施設を整備する場合には、そのような民間活力を活用するという部分も検討していきたいと考えている。

(会長) 現在は、ソフトの領域でも単に委託を行うのではなく、成果に応じて支払いを行うなどの取り組みも始まっている。民間との協働という視点は検討していくことも重要かもしれない。

(委員) 職員を補うための臨時職員の方もいらっしゃる。臨時職員の方の能力を向上させていくということも今後は必要ではないか。サービスの低下を招かないためにも。

(事務局) 行政事務の低下を招かないためにも人材育成や適正配置なども含め、検討していくこととしている。会計年度任用職員なども対象とした研修も行っている。

(会長) 専門性を高めるためにもこの視点を踏まえ取り組んでももらいたい。

(委員) ワークライフバランスの中で時間外勤務削減や有休休暇取得率など現状を把握し、指標としてもいいのではないか。

(事務局) アクションプランの中で検討していきたい。

(会長) あらゆる職員という部分も重要かもしれないが、男性の育休取得など具体的な部分を明確にしてもいいかもしれない。人材育成という部分でのメリハリをつけていてもらいたい。

(委員) ふるさと納税のPRなどは今後どのように行われているのか。

(事務局) ポータルサイトを活用した取り組みを検討している。

(会長) 魅力ある商品を開発や横断的な体制整備も必要ではないか。

(事務局) 現在も返礼品の担当部署と連携し取り組んでおり、また、市独自の返礼品を図っていききたい。

(委員) 商品のラインアップも重要かもしれないが、これまで納税された方へのアプローチは何かされているのか。他の自治体からは旅行に来ませんかなどのプランも送ってきた。天草市もそのようなことをされているのか。

(事務局) 天草市でも数は少ないが体験や旅行プランは取り扱っている。

(会長) 天草側でも地域商社などさらに推進していく体制を作っていくことも必要ではないか。新たなステップの段階に入ってきているかもしれない。今後、アクションプランを含め、指標の設定、検討を進めてほしい。今後の流れを事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 今後のスケジュールとして、今後パブリックコメントを実施し、市民皆さんの意見を求めていく。今後、アクションプランを作成し、次回の審議会でアクションプランの意見を含め、審議をお願いしたい。委員皆様からもどのような指標を設定するといったご意見をいただければと思います。

以上